

2 決算収支の状況と収支上の問題点

(1) 決算収支の状況

(単位:千円)

区	分	平成17年度	平成16年度
歳入	総額	28,107,286	28,321,086
歳出	総額	27,757,161	27,868,532
歳入	歳出	差引	
		350,125	452,554
翌年度繰越事業に充当する財源		978	304,931
実質	収支	349,147	147,623

(参考)

(単位:千円)

区	分	平成17年度	平成16年度
実質	収支	349,147	147,623
基金	取崩	額	0
			689,553
土地	売払	い	収
		290,122	144,276
財源	対策	債	
		270,800	250,000
基金取崩額、土地売払い収入及び財源対策債を除いた本来の収支		△ 211,775	△ 936,206

(2) 収支上の問題点

実質収支は例年黒字決算となっており表面上の問題はないように見えるが、基金の取崩や臨時的な土地売払収入、地方財源不足額を補てんするため発行が認められた財源対策債(建設地方債)によるものであり、これらを除いた本来の収支は大幅な赤字である。

こうした財政構造を改善すべく、現在、第4次行政改革のもと、人件費の削減、事務のスリム化、投資的事業の縮減など歳出の抑制を図る一方、市税の徴収強化、使用料及び手数料の見直しや公有財産の積極的な有効活用など歳入の確保に努め、早期財政健全化に向け、全庁挙げて取り組んでいる。